

誤嚥性肺炎予防に必要



【問】家族が、胃ろうで栄養摂取しています。口から食べていなくても口腔（こうくう）ケアは必要なのですか？（西彼長与町、48歳女性）

胃ろうでも口腔ケア？

【答】口の中の汚れには、主に歯の表面や粘膜に付着している細菌の集合体（バイオフィルム）と唾液中や粘膜表面に遊離している細菌、新陳代謝により剥がれた粘膜の細胞や食べ物の残りかすがあります。健康な大人では、1日約1・5リットルの唾液が分泌され、のみ込んだりうがいしたりすることで、遊離している細菌などを洗い流す自浄作用が働きます。バイオフィルムとしては、歯の表面に付着している細菌は、口の中の自浄作用だけでは取り除けず、歯磨きなどで機械的に除去する必要があります。

胃ろうや完全静脈栄養（TPN）の患者さんは、口から食えることがなく食物が口に残ることはありません。しかしそれ以外の細菌や、剥がれた粘膜細胞などの汚れは存在します。さらに、しゃやくや嚥下、会話といった口の周りの運動が少なくなるので、唾液の分泌が減ります。そのため口の中の自浄作用が著しく低下します。その状態が長く続くと、バイオフィルムが咽頭にまで付着し、誤嚥性肺炎のリスクが増大します。

そのような状況を予防、改善するために、口から食べていない人にも口腔ケアが必要です。歯の清掃だけではなく、舌や口蓋などの粘膜も粘膜用のブラシで清掃する必要があります。歌や会話、口の周りの体操なども自浄作用を促し、口の機能低下を予防するために大切です。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者

高橋 英敬

西彼長与町高田郷
たかはし 歯科・小児歯科院長

